

令和4年度 第3回沖縄県農政審議会 議事要旨

令和4年11月10日（木）14：00～16：00

議題 「新・沖縄21世紀農林水産業振興計画（案）」に係る諮問について
（本文第4章）

- 伊江島は民泊による体験教育旅行の受入れが県内で最も盛んであり、伊平屋島、伊是名島でも積極的に受入れを行っているため、北部圏域の周辺離島のところに「グリーン・ツーリズムやブルー・ツーリズムの推進」について記載すべき。
- 製糖工場の老朽化が著しく、機械・設備のトラブルにより操業停止が発生することから、経営の安定性及び農家所得の確保、安全・安心な操業の確保が早急に求められている。
- 近年、機械収穫率の上昇に伴い、雨天による原料切れで操業期間が長期化する傾向があり、特に前年度においては、伊良部島では7月上旬までかかり、コスト増加、歩留まりの低下、次期作への悪影響があった。地球温暖化による長雨などの異常気象は、今後も継続するものであり、対策を急ぐ必要がある。
- 養殖の振興を図る上で、種苗の安定供給は必須であり、栽培漁業センターは現在も種苗生産に取り組んでいるため、北部圏域に記載すべき。（事前提出意見）
- スギは北部圏域でも養殖されており、今後、生産拡大が期待できるため、中部圏域だけでなく、北部圏域にも記載が必要である。（事前提出意見）
- 畜産の環境対策について、畜産側の観点だけでなく、耕作側からしても肥料代の高騰を考えると県産資材を活用することは有意義と考えるためその観点を追加したほうが良い。

- グリーン・ツーリズム等による交流・体験について、どの圏域でも同じ表現となっている。そのぞれの地域の新しいツーリズムも出てきていることから、そのあたりを文言として盛り込んでほしい。

- 観光と農業は別々の産業だが、連携することで新たな取組ができる。民間同士でやるよりも、行政のバックアップもあった方が可能性が増えると思うため文言を追加してほしい。

以 上